

第67号

平成30年10月  
つきだて花工房発  
季刊誌

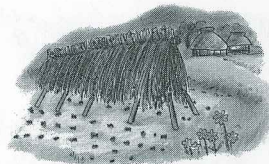
◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと  
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

# 木もれ日 通信

K o m o r e b i T s u s h i n

遠足、運動会  
どこからかにおっ  
金木犀は記憶の香り

そちらは稲刈りが盛りの頃でしょう。秋の夕日に金色に輝く田んぼや、稲刈りのすんだ田んぼに杭がけで干された稲束の様子などが懐かしく思い出されます。今年は雨で稲が倒れたりしませんでしたか。去年は稲刈り前の大雨でとても大変だったと、かあさんがほやいてました。イノシシも増えてきたとか。無事にお米になるといいですね。



こちらは相変わらずです。ビルや家並みの隙間から見える空の色はいつの間にか秋になっていました。あんまりちよつとしか見えないから、季節の移り変わりにもなかなか気がつきません。それとも、下ばかり見て歩いてるのかな。電車の中はいつもの通り身動きも出来なくて、見えるのは人の背中ばかりで外の様子も見えないからね。

そういえばこのあいだ、駅前近くの路地からキンモクセイが香ってきた。うちのキンモクセイのことを思い出しました。あのキンモクセイは咲きましたか。あの木の下に立って甘い香りをずっとかいでるのが好きだったなあ。もう、しばらく嗅いでない気がします。この時期はなかなか帰れないからね。

とうさん、入院したんだって？

大丈夫なんですか？「この話したところ、お父さんには内緒だよ。おこられつから」ってかあさんには言われたけど、やっぱり気になります。

とうさんは見た目がごつくて病氣なんかしそうな気がしますが、そういう人ほど無理しがちなんだから気をつけなと。タバコは早く止めてね。お酒も控えないと。あと、早食いはよくないよ。かあさんの料理はおいしいんだから、せつかくのおいしい料理なんだから、よく味わって食べて、たまにはほめてあげてね。「お父さんには料理作る甲斐がない」って、かあさんよくこぼしてるよ。

「もう大丈夫だから心配しなくていい」ってかあさんは言ってたけど、治ったばかりの身体で田んぼや畑の仕事は大変でしょう。無理しないで、今までよりスローペースでね。もうそんなに若くないんだから。

また、そのうち帰ります。今度のお正月には帰れるかな。帰りたいな。

\*

おまえの手紙の文字は相変わらず小さくて、夕日が当たった手紙の白さがまぶしくて、小さい文字が読みにくくなってきた目がチラチラしてなかなか読み進められない。

なあ、俺を心配するおまえこそ、大丈夫なのか。たまには帰ってこられないか。うちのキンモクセイは満開で、おまえを待っているのに。

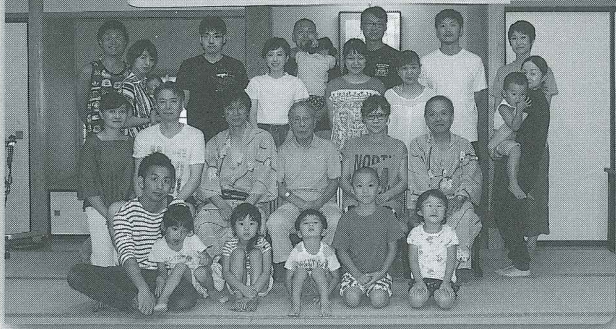




# お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思い出が詰まった  
つぎだて花工房の宝石箱です

光之助おじいちゃん米寿を祝う会



## ◆光之助おじいちゃん米寿を祝う会様 (福島市飯野町)

ご家族、親戚の皆様で光之助さんの米寿のお祝いをされました。皆さんとてもお元気で、光之助さんが皆さんを見る眼差しがとても印象的でした。いつまでもお元気で過ごして下さい。



## ◆昭和28年度飯坂中学校卒同級会様 (伊達郡川俣町)

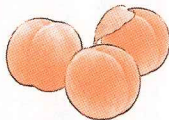
久しぶりに会う同級生と時間が経つのを忘れる程に思い出話で盛り上がっていました。また同級会でお会いできることを楽しみにしております。

同級会



## ◆後藤様 (伊達郡国見町)

国見小ソフトスポ少時代のママ友で40年来のお付き合いだそうです。この日は花工房のプレミアムプランでのご宿泊でした。特典の桃と一緒にパシャリ！ いつまでも仲の良いママ友でいて下さいね。またのお越しをお待ちしております。



旧神樹会・傘寿を祝う会

## ◆旧神樹会・傘寿を祝う会様 (伊達市月舘町)

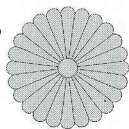
近況や懐かしい思い出話に花を咲かせていらっしゃいました。皆様の笑顔が印象的で、私たちスタッフも負けないように笑顔を決やさず、頑張りたいと思います。



齋藤敏雄さん瑞宝双光章お祝い会 平成30年7月 日

## ◆齋藤敏雄さん瑞宝双光章お祝いの会様 (伊達市月舘町)

齋藤敏雄様、瑞宝双光章受賞おめでとうございます。一人一人とゆっくりお話をされ、皆様からの祝福のお言葉と笑顔で会場が包まれていました。



## ◆坂車 GP 優勝賞品のピザ焼き体験

里山の木で作る手づくりゴーカート「坂車」。坂車で坂を下るタイムを競う「坂車グランプリ」でチャンピオンに輝き、ピザ焼き体験をGetした熊谷さんご家族が体験に来てくれました。元気でかわいい三人姉妹とおかあさん、おじいちゃんの楽しい体験でした。またチャレンジしてね。

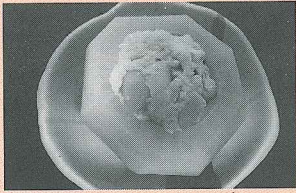




## 季節の一品

### かぶ 蕪の肉詰め

今回は蕪と相性の良い鶏肉を使った一品を紹介します。



#### 作り方

- 蕪の上下を切り、中をくり抜き米のとぎ汁、又は米を入れて固めに下茹でし水にさらす。
- 鶏挽肉に角に切った銀杏と椎茸、卵白・塩・醤油を加え粘りが出るまでまぜあわせる。
- ①の蕪に②の挽肉を詰め、Aを合わせた中に入れ弱火でじっくり煮あめる。
- 器に盛り完成。  
※お好みで柚子胡椒を付けてお試しください。  
※豚挽き肉に代えても良いです。

#### —材料 (4人分)—

蕪 …………… 4個  
鶏挽肉 …………… 120g  
卵白(つなぎ) …………… 1ヶ分  
銀杏 …………… 適量(お好みで)  
椎茸 …………… 適量(お好みで)  
塩、醤油 …………… 少々  
A(調味出汁)  
出汁(顆粒でも可) …… 500cc  
酒 …………… 30cc  
薄口醤油(醤油でも可) …40cc  
味醂 …………… 40cc  
塩・味の素…各少々



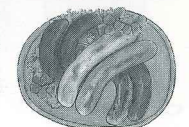
### ◆大学のゼミ仲間のうどん打ち

東北大学農学部のゼミ仲間 13名がうどん打ちを体験されました。はじめてのうどん打ちでしたが、力いっぱい捏ねて、力いっぱい踏んで、コシのあるうどんに仕上がりました。季節の野菜でかき揚げも揚げて、「美味しかった!」と笑顔がいっぱいでした。



### ◆セージを使ったハーブクッキング

9月のハーブ教室は、セージをメインにソーセージを作ったり、ハーブのドレッシングでサラダを作ったりしました。このあと、11月はシクラメンとハーブで苔玉作りに挑戦、そして12月はクリスマスハーブ料理として色々なハーブを使った丸焼きチキン作りです! 寒くなる時期、じっくりと手づくりやガーデニングをハーブ教室で楽しみませんか



## 厨房のイチオシ!



### 秋のお膳紹介

朝夕もめっきり冷え込み、暖かいものが恋しくなる季節、花工房では食材の風味や食感を大切に、体の芯からじんわりと温まるお料理をご用意しております。中でもおすすめなのが「蓮根飛竜頭(れんこんひりゅうず)」です。絞った豆腐に蓮根・ひじき・人参を加えて油で揚げて、外はカリカリ、中はふっくらアツアツ、具沢山の一品に仕上げました。また、「ふるふき蕪じゅうねん味噌」は、出汁の染み込んだ蕪にじゅうねん(えごま)の味噌をかけ、蕪の甘みとじゅうねん味噌の相性が良い一品です。他には「百合の膳」ではエゴマ豚、「花の膳」では福島牛のステーキで、福島ブランドをご堪能いただけます。素材にも味わいが増す秋のお膳を、ぜひお召し上がりください。

## 花々日記

里山エゴ暮らし

今は大分少なくなってきましたが、この辺りではまだ薪で風呂を焚く家があります(我が家もそのうちの二つです)。少し前までは、夕暮れ時になるとあちこちから薪を焚く匂いがしてきたもので、「ああ、今日も一日が終わるのだな」という、ちよつと気持ちが和らぐ一時だったように思います。個人的には、夕方にどこかの家から流れてくるカレーの香りと同じくらいに、好ましいものとなつていきます。

ではのものだったはずですが。その農家での会話の中で、震災のときの話になりました。その方のお宅では、お湯を薪ボイラーで沸かしているとのこと。震災の時、お風呂を沸かせない周囲の方が、お風呂に入らせてもらいに来たとのこと。今でも裏山の木を伐って薪を作り、お湯を沸かしているそうです。「うちは災害に強いし、エコなのよ」と言葉に、学生たちも「すごい!」と感心していました。3日間の最終日、みんなでツアーの感想を話しているとき、このことが「とても印象に残った、東京ではとても考えられないこと」と話した学生がいました。

ここに住む私たちにとっては当たり前、前の、周囲を木に囲まれている環境自体、新鮮だったようです。

話は変わって。この夏(というか、秋ですが)、月館に農業体験をしに、首都圏から大学生がやってきました。3日間、2回の日程に、総勢8名が参加しました。きゅうりや桃、ピーマンの収穫体験を行い、収穫した野菜を使った料理を楽しんでいただきました。穫れたての野菜の色つやに感動し、花工房の農園で収穫した人参を生でかじって「おいしい!」と歓声を上げていました。中山間地域の急傾斜での圃場(ほじょう)も東京にいてはわからないことのひとつでした。訪問した農家でお話を伺いながら、振る舞っていただいた手づくりのきゅうりの漬物、蒸しパン、イチジクの甘露煮も、この体験なら

今さら燃料を薪と炭に頼る生活に戻るべきだ、と主張するつもりは全くありません。原料となる木を伐りだして薪や炭にするまでの労力は大変なものだし、それを燃料として都会に持ち込むことなど不可能です。現代生活は電気がないと成り立たせません。ただ、可能な環境であれば、薪作りや風呂焚き、炭焼きや焼いた炭で調理を楽しむこともぜひしてほしいと思います。日々荒れていく里山が、少しでもその姿を保てるように祈りながら。



### 日々の暮らしにハーブの香りを〜ハーブ教室・今後の予定

講師: 瀧田 勉先生 (ハーブとスローライフの研究者)  
参加費: 1,800円 (材料費・税込)

11月26日(月) ハーブガーデニング・アレンジ編

12月3日(月) クリスマスハーブ料理

1月28日(月) 美容ハーブ



家族との時間、どう過ごしていますか？

# おかあちゃんの口紅

『森浩美作 双葉社刊「家族の言い訳」より』

朗読 島岡安芸和

「近くにいるから」  
わかっているつもりでも  
家族のこと  
どれだけわかっていますか？

「夫婦の手紙」 北海道松前町 作・宝島社刊  
朗読 島岡安芸和・石井麻土香

「イブと小さいグリスティーネ」 アンデルセン 原作  
朗読 つきだて花工房リーディングアラウドの会

## 11/13火

●1回目 午後4時開演  
午後3時30分開場

●2回目 午後7時開演  
午後6時30分開場

前売 1,000円

当日 1,500円

(全席自由)

会場 つきだて花工房

ヴォーカル・石井麻土香  
ピアノ・大澤純麗  
ヴァイオリン・阿保樹 音楽・鈴木喬子  
ステージング・松永さち代

チケットはつきだて花工房フロントにて  
ご予約受付・販売しております。  
つきだて花工房 024-573-3888

主催 一般社団法人つきだて振興公社 後援 伊達市月館総合支所

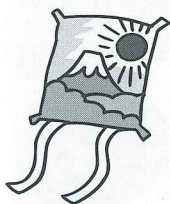
### 一貫張り作品展開催

11月25日から12月9日まで、交  
流館もりもりでは「一貫張り作品  
展」を開催します。毎月開催して  
いる一貫張り教室の講師・渡辺恵  
美子さんはじめ、受講者の皆さん  
が制作した一貫張り作品を一挙展  
示！ 日常遣いできるもの、和の空  
間を演出するインテリア向きのも  
の、様々な作品を  
楽しめます。入場  
無料、一部の作品  
はご購入いただけます。  
ます。



### 冬の田舎体験

年末年始は田舎の冬遊びや冬仕  
事を体験しませんか？ 凧を作って  
電線のない広場で凧揚げを楽しめる  
「運氣UP↑凧作り」、月館産の小  
麦粉でうどん打ちに挑戦する「新  
春うどん打ち体験」(要予約)で年  
末年始もアクティブに！ 凧作りは  
12月29日～1月3日開催で料金は  
300円から、うどん打ちは1月  
4日～6日開催で大人1000円、  
小学生700円です。



### お客様の声

「夏休みにピザ焼き体験をご利用」  
ピザ作り、木工もとても楽しかった  
です。ピザに使われている野菜もおい  
しくて、娘たちもすごく美味しい!!  
と言っていました。またぜひ利用した  
いです。  
(玉塚市 W様)

「印象に残った記事」  
表紙のタチアオイの花と亡き母の思い  
出を綴った文。懐かしい実家が今は他  
の人のもの。しかも更地に！ 胸にし  
みると共にお盆も近い今亡き両親を偲  
びました。名文です!! 昨年、一昨年  
と6月に元職場の同期会を貴所でやり  
ましたが、今年は春先大病を患い養生  
中です。元気になったら又ですね。  
(福島市 K様)

### 読者プレゼント!

月館のお米と  
手づくり漬物  
3名様に。



\*イラストはイメージです

ご応募はキーワード・氏名・郵便番号・  
住所・電話番号・木もれ日通信67号で印象  
に残った記事とご感想をお書きの上、ご応  
募下さい。メ切は12月25日到着分まで有効  
です。宛先はこちら。

### 【ハガキ】

〒960-0903 福島県伊達市月館  
町下渡字寺窪7 つきだて花工房  
木もれ日通信読者プレゼント係

【Eメール】flower@hanakobo.jp タイ  
トルに「木もれ日通信67号読者プレゼント係」  
とお書き下さい。

なお、当選者の発表は賞品の発送に代え  
させていただきます。また、いただいた個  
人情報はつきだて花工房が責任を持って管  
理・保管し、プレゼント及び当館のご案内  
をお送りするほか、サービス向上のために  
使用させていただきます。

今回のキーワードは：  
「キンモクセイ」  
たぐさんのご応募、  
お待ちしております！



### 編集後記

秋の入口、農業体験で8人の大学生を受  
入。なによりの驚きはみんな平成二桁生  
まれということ。昭和は遠くなりにけり。  
〈つきはな〉  
秋の季節…食欲の秋！ また体重計と  
睨めっこしながら食べ歩きしたいと思  
います。そして、紅葉！ 今年も癒され  
に行つてきます。今から楽しみます。  
〈由〉

通勤途中の車窓から見える田んぼや山々  
の彩りであったり、夜のひんやりとした風  
と虫の鳴き声…自然が教えてくれる秋の  
訪れに心癒される日々です。  
〈赤〉

初めて作ったさつまいも。子供のように  
ワクワクしながら芋掘りをしました。  
出来はともかく、大学芋、スイートポテ  
ト、タルト、作って食べるのが楽しみです。  
〈厚〉



月の明かりで疲れた  
心を癒したい。  
いますぐカレンダーにチェック!!

10月25日(木)  
11月23日(金)  
12月23日(日)

11月8日(木)  
12月7日(金)  
1月6日(日)

休館日 11月13日、12月4日、1月8日  
(全て火曜日)